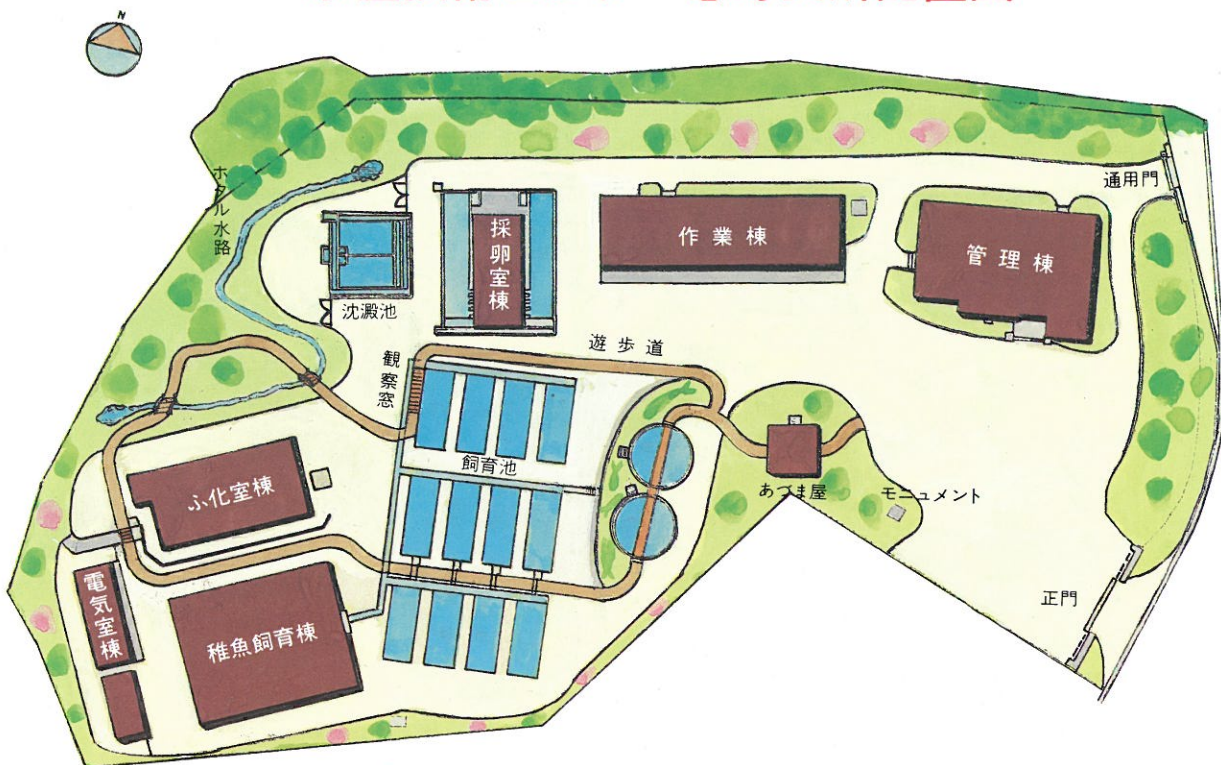


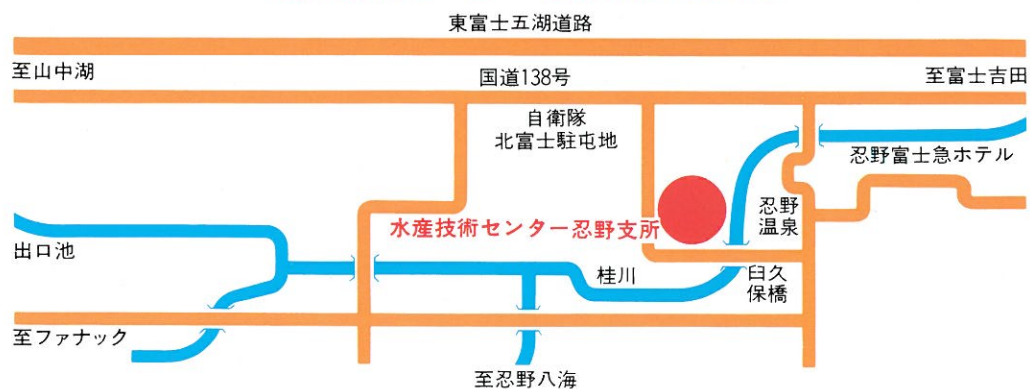
水産技術センター忍野支所配置図



施設及び規模

施設名	規模等	備考
飼育池	36面、701m ²	飼育池の一部に観察窓を設置する。
ふ化室棟	1棟、198m ²	
管理棟	1棟、300m ²	事務室、会議室、種苗管理室、魚苗検査室
作業棟	1棟、250m ²	検卵室、飼料倉庫、作業室棟、車庫
採卵室棟	1棟、85m ²	
機械室棟	1棟、56m ²	
揚水施設	ポンプ 3本	
ホタル水路	全長 70m	
あづま屋	1棟	

水産技術センター忍野支所位置図



山梨県水産技術センター忍野支所

(題字は、天野知事書)



水産技術センター忍野支所

〒401-0511 南都留郡忍野村忍草3098-1
 電話 0555(84)2029
 FAX 0555(84)3707

山梨県水産技術センター

〒400-0121 中巨摩郡敷島町牛匂497
 TEL. 0552-77-4758
 FAX. 0552-77-3049

●忍野支所のあらし

昭和6年にニジマスの飼育を目的として、山梨県営忍野孵化場が開設されて以来、昭和27年に山梨県忍野養魚場、昭和33年に山梨県水産指導所忍野養魚場、昭和47年に山梨県魚苗センター忍野養魚場と変遷を重ねて来ました。

この間、一貫してニジマス等冷水性魚類の種苗生産供給と養殖技術の普及指導を行い、本県の内水面漁業の振興に尽して参りました。

平成3年6月、魚苗センター忍野養魚場施設整備計画が県議会で承認され、平成3、4年に池、建物の工事、平成5年に外構工事等が行われ、平成5年7月、竣工の運びとなりました。

その間、平成5年4月には、水産技術センター忍野支所と改称され、魚の増殖や養殖技術の開発と業界の要望に応えた種苗生産の基地となる「さかなづくり」の場として、さらには魚を見る、魚を学ぶといった「ふれあいづくり」の場として整備され期待されているところです。

●養殖技術研究



採卵用大型魚を集める装置。
今までは人間が水中で行って
いました。



受精卵に圧力をかけること
により全ての魚を雌にしたり、短
期間に大型魚にする実験です。

●種苗生産



空気採卵

成熟した雌魚の腹の中に空気を送り込み、卵を取り出す方法で、卵がいたみません。主に、ニジマスでおこなわれます。



発眼卵

受精後約16日程たつと、卵の中で稚魚の形が見えはじめ、眼が黒く大きく見えます。この時期に養殖業者に引き取られていきます。

●普及事業



魚病の検査

養殖魚の病気を予防したり、治療したりするほか、養殖技術の普及や水質検査等をおこない、健康でおいしい魚が生産されるよう努力しています。